

磐田市

自治会連合会だより

～ 31地区、304自治会の力の結集で安全安心のまちづくりに努めています ～

回 覧

VOL.22

平成26年7月1日発行

発行：磐田市自治会連合会

編集：磐田市自治会連合会総務部会

連絡先

磐田市自治会連合会事務局 <市自治振興課>

☎(0538)37-4811

<http://www.iwatashi-jichikai.jp>

自治会連合会が抱える 課題へのチャレンジ



自治会連合会長
杉田 友司

本年度がスタートして早3カ月が経過しましたが、新任の自治会長さんにおかれましては、初体験のことも多く、繁忙の日々が続いていることと思います。誠にご苦勞さまでございます。今後引き続きよろしくお願いたします。

さて、自治会連合会の課題について、本年4月の総会時に一歩踏み込んだの提起をさせて頂き、改革への思いを伝えさせて頂きました。改めて今一度この場をお借りして述べさせて頂きます。

私達を取巻いている最大の環境の変化は、「少子高齢化社会と核家族化の進行、人口の減少」であり、私達が経験したことのない社会の到来であります。磐田市の変化の内容の一部を数字で見ると、

① 磐田市の高齢化率は、平成26年3月末で24・3%であり、自治会によつては40%を超えているところもあります。

② そして平成28年には26・4%、平成29年には27%と予測されており、高齢化率30%はすぐそこまでという状況にあります。

③ 人口の減少問題では、磐田市の人口は、平成20年が最も多く、17・7万人であり、平成26年3月には、17・07万人と17万人を割る状況にあります。減少の原因は、外国人市民の減少によるところが大きいです。

このような変化を率直に受け止め、自治会という組織が、住民の期待に添えていける組織として存続していくために、5年、10年先を見据えながら、自治会連合会や単自治会自らが、行政とともに考え、思い切った改革を進めていくことが急務であります。

こうした変化は、
① 自治会活動の在り方や役員、組長、班長の選出の難しさ、役員体制づくりへの問題

② 行政依頼の委員選出の難しさや任期年数に応じきれないことへの問題

③ 奉仕作業（草刈り等）への参加者減少など自治会活動停滞等の問題
④ 自治会会費や自治会財政の在り方の問題

⑤ 様々な組織が地区内では存在しているが、活動目的、内容が似ている組織もあることから、活動内容や地域組織の統合や見直しを図り

簡素化を進めるべき

⑥ 行政からの配布物、回覧文書が多く内容も含めての改善

⑦ 自治会会員数の減少化

等々の問題が地域では生じています。世帯数の少ない単自治会にあっては、極めて深刻な状況にあり、課題が表面化してきた自治会は、既に対応策を進めているところもあります。このような社会変化をしつかりと受止めながら、次の事について皆で知恵を出しながら改革を進めて行きたいと思えます。

① 「単自治会の合併も検討の視野に」この事は実現するのに極めて難しいと思いますが、議論としては有り得る事と思えます。

② 「単位自治会間の協力関係構築の推進」(例) 構成世帯数が少ない自治会と隣接の自治会とが協力関係を結び、事業の共同化や行政選出委員の容易化等を進める。その場合、協力関係を結んでも、自治会個別の事は相互に認め容認する。

③ 「行政との改革に向けての協議の場を設置する」

その他にも改善策はあると思いますが、組織の基本的な課題解決にチャレンジしながら、自治会と行政が良き協力者であり良きパートナーとして「安全安心の住み良いまちづくり」に向かって歩いて行きたいと思えます。今後ともご協力をよろしくお願いたします。



自治会連合会組織の紹介

自治会連合会

連合会主催の事業を実施したり、自治会と行政の連絡調整役として、各自治会からの意見を代表して行政へ要望したり、一方で行政の考え方や情報を各自治会へ伝えたりする活動をしています。

本年度から自主防災力強化のため、自治会・自主防災会の両連合会を統合しました。これに基づき「防災対策アクションプログラム」を強力に押し進めてまいります。

① 会議

総会（年1回）、二役会、理事会（月1回）を開催します。市三役や市議会代表者との懇談会を実施したり、行政が行う事業の各種委員に住民代表として参加しています。

② 研修・視察

役員の高質向上及び本会の運営の参考にするため、研修会や視察を行っています。

③ 事業部（専門部）

事業に関する調査研究・実践

を機能的に行うため、三つの部会を設けています。

【総務部会】

部会長：仲川副会長（豊岡支部長）、部員9名（連合会理事）
会報紙の発行や自治会組織及び活動等の研究など、会全体の運営にあたります。

【環境部会】

部会長：府川副会長（竜洋支部長）、部員10名（連合会理事）
環境美化行動をはじめとする生活環境の改善に関する企画・運営にあたります。



【住民安全部会】

部会長：村上副会長（豊田支部長）、部員10名（連合会理事）
防犯まちづくりを実践するための企画・運営にあたります。



④ 「防災対策アクションプログラム」の推進

プログラム

平成24年9月に、東日本大震災からの教訓を受け策定しました。
●「家庭防災の日」の推進
●自主防災組織の強化



支部

平成17年の5市町村による合併の構成市町村（旧磐田市、旧福田町、旧竜洋町、旧豊田町、旧豊岡村）を単位とした組織です。

所属する地区自治会活動の牽引役として、年度初めにおける自治会長研修会や多文化共生情報懇談会などを開催しています。また、環境美化活動など、それぞれの支部にあった活動を行っています。

地区自治会

おおよそ小学校区や昭和初期の旧村などを単位として、複数の単

位自治会により組織されています。全部で31の地区自治会があります。

地区は、単位自治会では対処が困難な課題や、広域的に行う方が効率的な事業に取り組みとともに、所属単位自治会相互の連絡調整を行っています。

（例）安全・安心の防犯活動、生活基盤に関する改善・要望、地域福祉など地区には、地区長が選任されていて、地区自治会の運営や地区・単位自治会と行政との橋渡し役を担うとともに、自治会連合会の役員として運営にも参画するなど活躍しています。

自治会連合会のホームページでは連合会や地区の活動などを掲載しています。是非ご覧ください。

磐田市自治会連合会 検索

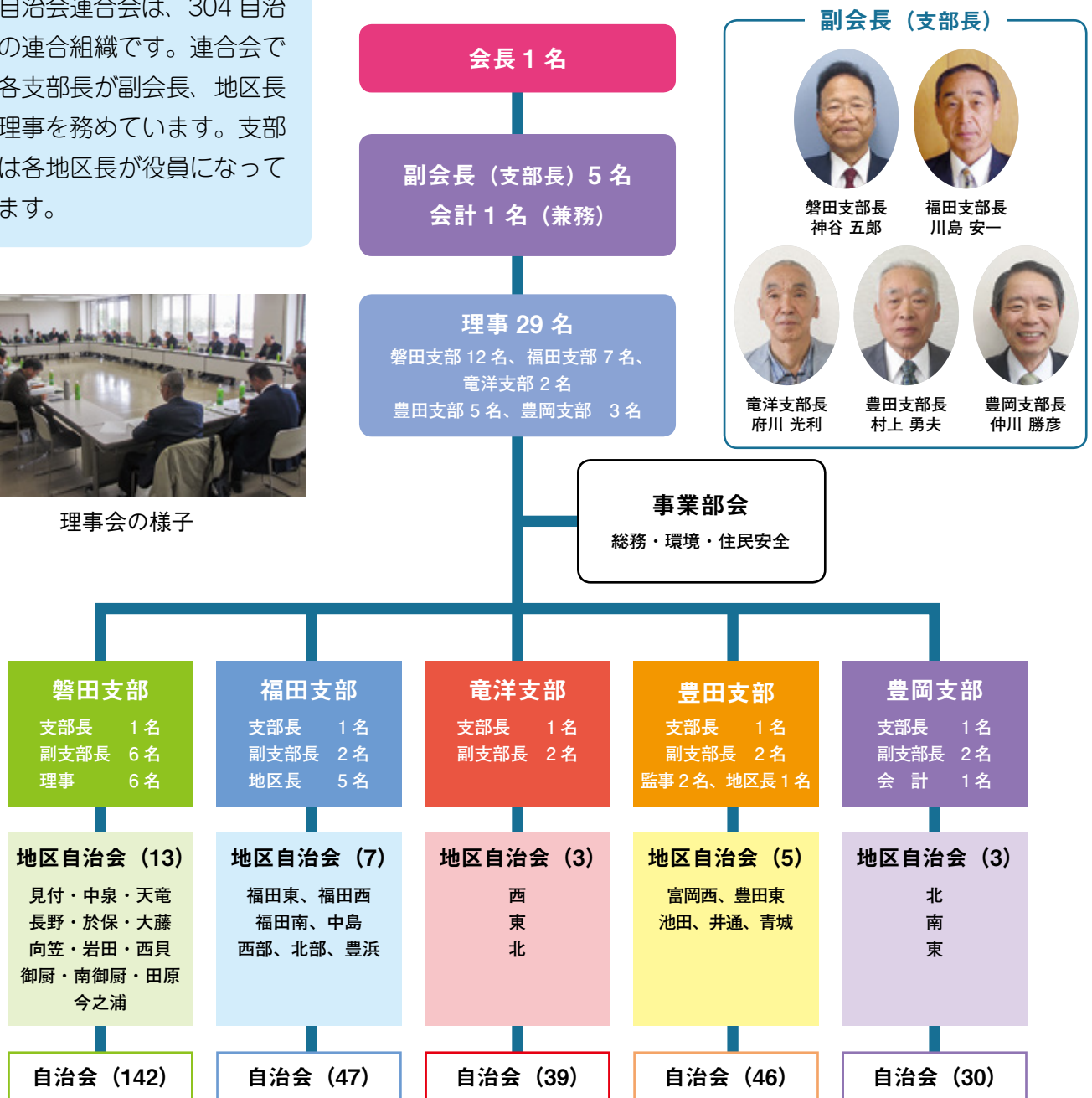
<http://www.iwatashi-jichikai.jp/>

平成 26 年度磐田市自治会連合会組織図

自治会連合会は、304 自治会の連合組織です。連合会では各支部長が副会長、地区長が理事を務めています。支部では各地区長が役員になっています。



理事会の様子



活動の様子



高齢者交通事故防止対策モデル地区



防犯パトロール推進大会



防災訓練



市議会との懇談

平成26年度総会

平成26年4月12日開催

【平成25年度の取り組み】

平成24年9月に自治会連合会、自主防災会連合会が合同で策定した「防災対策アクションプログラム」柱4に基づき取り組みとして、両連合会の一体化に向けた検討委員会を3回開催しました。その結果、地域の自主防災活動がより効率的かつ効果的に推進さ

れ、有事の際に指示系統が混乱をきたさないようにしていくため、磐田市自主防災会連合会は平成26年3月に解散し、自治会連合会と一体化しました。これにより、本会では自主防災活動に関する事業について明示し、より具体的なかつ積極的な形で展開していきます。

収入

< 平成25年度 収支報告 >

費目	収入額 (円)	説明
会費	1,690,000	単位304自治会、連合会専任役員34名より会費5,000円ずついただいております。
交付金	9,972,200	磐田市9,000千円 日赤社費972千円
負担金	561,000	役員視察研修等の参加者負担金です。
前年度繰越金	565,392	
雑収入	367	預金利息
合計	12,788,959	

支出

費目	支出額 (円)	説明
会議費	454,015	総会、三役会（年間15回）、理事会（年間10回）、各会議資料作成費等
事務費	2,558,353	役員手当、出張旅費、甲斐見舞金、事務用品、傷害保険料、郵便料、インターネット環境維持経費等
助成費	6,100,000	支部活動を支援し、地区活動の促進を図るため各支部に助成金を交付しています。 基本額：1自治会あたり10,000円 加算額：地区活動加算額として、1自治会あたり5,000円 また、地区安全会議の防犯活動を支援するため助成金を交付しています。 1団体70,000円×22団体
視察研修費	878,481	市が災害時相互応援協定を締結する甲府市と駒ヶ根市へ役員30名が訪問し視察しました。
事業部活動費	1,938,782	広報紙印刷代、自治会長コミュニティハンドブック印刷費 防犯・環境美化啓発ポスターコンクール実施経費 防犯パトロール用品購入費等
負担金	113,000	県自治会連合会負担金等
予備費	0	
合計	12,042,631	



< 平成26年度 予算 >

収入

費目	予算額 (円)
会費	1,690,000
交付金	12,000,000
負担金	660,000
前年度繰越金	746,328
雑収入	672
合計	15,097,000

支出

費目	予算額 (円)
会議費	600,000
事務費	2,808,000
助成費	7,060,000
視察研修費	1,050,000
事業部活動費	3,255,000
負担金	224,000
予備費	100,000
合計	15,097,000

【26年度事業・計画】

本会の基本方針である「安全・安心の住みよいまちづくり」に基づき、引き続き防犯まちづくり、環境美化等の事業を進めていきます。また、「**防災対策アクションプログラム**」を推進し、**地域の自主防災組織並びに地域防災力の強化を図るべく取り組んでいきます。**

- 市政への関心を深め、市民の声を市政へ反映させる
市政懇談会、市三役及び市議会との懇談会等の開催
- 「防災対策アクションプログラム」の推進
防災訓練・自治会長、自主防災会長合同研修会（避難所運営会議）・防災講演会・家庭防災の日啓発など
- 多文化共生社会の推進
自治会長情報懇談会の開催
- 協力事業 他

【専門部主要事業】

- 〈総務部〉
 - 連合会たよりの発行
 - 自治会長コミュニティハンドブックの活用
 - 自治会加入促進パンフレットの活用
 - ホームページの充実
 - 高齢化対策など自治会活動の研究
- 〈環境部〉
 - 環境美化統一行動
 - 環境美化啓発ポスターコンクール
 - 環境施設等の視察研修
- 〈住民安全部〉
 - 地区安全会議への助成と地区相互の情報交換会開催
 - 防犯委員研修会の開催
 - 防犯活動支援
 - 防犯啓発ポスターコンクール
 - 交通安全関係団体との連携による啓発